

平成21年度学校評価アンケート集計結果の分析と今後の取組について

1 アンケート全体の回答傾向分析

〔職員〕

全体にA・B評価が多く肯定的な意見が多かった。(昨年同様の傾向)
C評価(どちらとも言えない・わからない)の多い項目が激減した。

〔保護者〕

昨年度の回収率(34%)から今年度は回収率(46%)となり、12ポイントの増加であった。

約半数程度がA・B評価で肯定的な意見である。学校生活に関する具体的な質問に対してC評価が比較的多いが、回答をするための学校の情報が十分に伝わっておらず「わからない」という評価が多いのではないと思われる。D・E評価の否定的な意見は少なかった。

〔生徒〕

昨年と比較してC評価(どちらとも言えない・わからない)が微減し、A評価・B評価が増えている。

2 学校評価アンケート 設問1～6(学校運営・学校全体について)

〔集計結果の分析〕

職員、保護者、生徒の順に評価は低くなっている。

職員会議の運営等については、およそ半数の職員は効率的かつ円満に運営されていると考えている。

職員の熱意についての設問では職員・保護者の評価は高く、生徒はやや下回っている。本校の取組について、職員に比較して、保護者・生徒は、「どちらともいえない・わからない」という回答が多かった。

PTA・地域への広報活動について、職員は昨年度よりA評価が増加したが、保護者は昨年度同様の評価傾向である。また、自由意見欄に授業公開に来る保護者が少ない。ホームページ等の広報活動が十分でないとの意見が複数あった。

保護者との連絡・意思疎通については、昨年度よりA・B評価が職員、保護者ともに微減している。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

学校から保護者への情報提供をより積極的にし、情報がより多くの保護者に届くようにする。また、より多くの保護者が授業公開・PTA総会に来校してもらえるように工夫することが必要である。

生徒が家庭に文書を持ち帰らないことが多いのが課題である。

学校からの情報が保護者に届いていない場合があることから、保護者への郵送の回数を増やす、保護者面談時にまとめて渡すという方法も考えられる。

学校外部により積極的に情報発信する学校のPRに努める。

各分掌・学年がホームページ担当者と連携してホームページをより充実させる。

携帯サイトを積極的に活用する。

地域の大学・専門学校との連携等、開かれた学校づくりの推進が必要である。

3 学校評価アンケート 設問7～10(本校の学習指導について)

〔集計結果の分析〕

保護者はどちらでもない・わからないと回答した人が比較的多かった。学校に足を運ぶ機会が少なく学校の様子が子供からの情報でしか伝わっていないことが伺える。

生徒の授業に関する評価は、A・B評価が昨年度に比して増加している。また、自分の授業に対する取り組みも良い評価をする者が増加した。

「欠点が減少している」の設問については、昨年と比較して職員・保護者・生徒のC・D評価が減少した。特に職員・生徒については大幅に減少した。補習の充実が1つの要因であると考ええる。

自由意見欄の保護者の記述で、補習充実を求める意見が複数あった。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

学力向上のために授業のさらなる充実と、生徒の実態にあった授業づくりをする。

学力を身に付けさせるには、補習や進学補習が有効である。

家庭学習の習慣を身に付けさせるために課題を出す。

試験問題・授業プリントの工夫をする。

自習時間を少なくするような配慮や分掌上の工夫をする。

教室環境の整備や授業準備も大切である。

アルバイトの学校生活への影響について考える必要がある。

4 学校評価アンケート 設問11～13(本校の生徒指導について)

〔集計結果の分析〕

設問11「頭髪・服装について基準に達している生徒が減少している」については、昨年度と比較して職員・生徒はA・B評価が増加したが、保護者についてはD評価が微増している。

設問11と比較して設問12「遅刻指導」、設問13「登下校マナー」については、評価が高く、肯定的な意見が多い。

自由意見欄の職員の記述で、頭髪・服装・マナーについての指導を強化すべき、または、学年間の指導に関する温度差を指摘する意見があった。

自由意見欄の保護者の記述で、頭髪・服装が乱れてきている、学年によって指導の仕方が違うという意見が複数あった。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

職員の共通理解、全校の指導の統一が必要である。

頭髪・服装の指導をもっと厳しくすべきであるという意見が多かった。

学年間の差をなくし、指導の統一が必要である。

服装・頭髪のルールについて保護者に積極的に情報提供していく必要がある。

マナーについてもより指導を充実させる必要がある。

統合に向けスクールカウンセラーの活用等教育相談機能を充実させる必要がある。

5 学校評価アンケート 設問14～16(本校の進路指導について)

〔集計結果の分析〕

設問14「計画的な進路指導」については、比較的評価が高いが、設問15「学力と生活態度の向上」については、Dと評価する職員が昨年度に比較して増加している。

設問16「進路未決定者の減少・上級学校への合格率増加」については、職員の評価は高いが、保護者の評価はC評価(どちらとも言えない・わからない)が多い。

自由意見欄には、1年次からの計画的な進路指導等、保護者の本校の進路指導への期待が記されていた。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

家庭において進路指導が話題に上がるようホームページ等を積極的に活用し、保護者への進路についての情報提供をより充実させる必要がある。

引き続き、進路のしおりやPTA広報等の広報活動に力を入れていく必要がある。

市川西高校との統合に向けて、両校連携し、さらに1年次からの計画的な進路指導を充実させる。

6 学校評価アンケート 設問17～20(部活動・施設設備・保健・学校への満足度について)

〔集計結果の分析〕

設問17「学校行事・生徒会活動・部活動の充実」については、昨年度比較してA・B評価が増加している。特に保護者の評価が良化している。ただし、自由意見欄の保護者の意見の中で、部活動の充実を求める意見が複数あった。

設問18「施設・設備」については、職員・保護者・生徒いずれもA・B評価が少なく、特に、昨年度に比較して職員のD評価がかなり増えている。

設問19「生徒の健康への留意、対応」については、昨年度と比較して生徒の評価が良化している。

設問20「学校への満足度」については、保護者の評価が最も高い。昨年度と比較して、職員・生徒の評価が良化している。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

部活動をより活発に、魅力あるものにする必要がある。

学校行事・LHR・総合的な学習の時間の内容について、さらに検討すべきである。

市川西高校との交流を進めていく必要がある。

学校の施設設備については評価が低い。予算の制約はあるが、その中で充実させる工夫をし、より多くの生徒が学校に満足感や充実感を持てるように、教育内容の充実を図っていく。

統合に向け、両校連携をしながら、統合後の学校行事や施設の充実を図っていく必要がある。

7 授業や生活についての生徒の自己評価について及び生徒による授業評価アンケートの結果について

〔集計結果の分析〕

全体的としてA評価が最も多い傾向で、本校職員の授業については高く評価している。また、昨年度と比較して全体的にA評価が増加している。

予習・復習をして授業に臨む生徒も昨年度より増加しているが、全体的には低い評価をしている傾向がある。また、学力（体力・技術）の定着感や授業の理解度については、他の設問と比較するとA・B評価が低い傾向にある。

〔今後の課題・今後取り組むべき事項〕(本校について・統合高校について)

学習への取組については、予習・復習をする習慣が身に付いていない生徒が多く、課題・プリント・小テスト等の工夫が必要である。

教員に対する授業評価は高い評価を得ているが、これに安心せず、生徒の学習意欲を高めるような授業研究を進める。

学習・生活面については、アルバイトによる影響というのも考えられる。